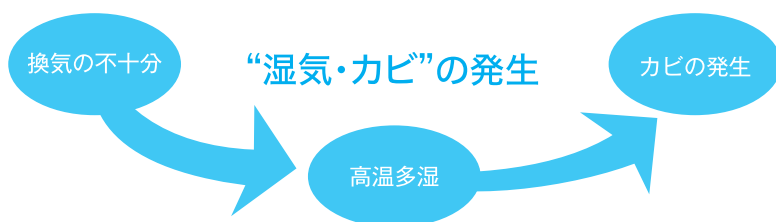
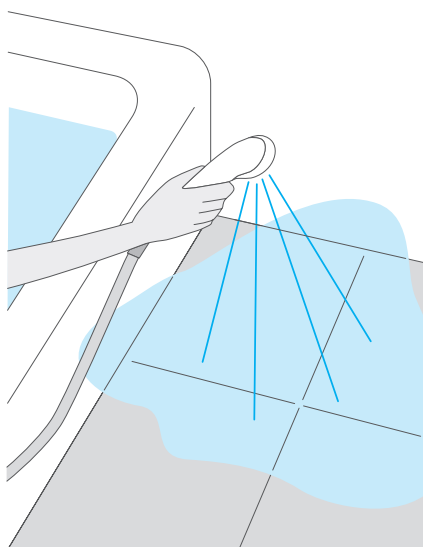


快適な入浴のために



浴室は室内でもっとも湿度と室温が高くなる場所。
換気が不十分だと“高温多湿”→“カビの発生”が起こります。
換気には特にご注意ください。



日常のお手入れについて

シャワーを勢よくかける

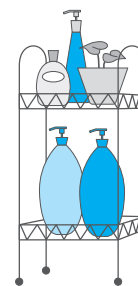
入浴後、浴室から出る直前に、シャワーを最大の勢いで、できるだけ高い位置から壁や床を中心にかけましょう。特に身体にかけたシャワーの飛沫がかかる場所やふだん乾きにくい場所、樹脂系のコーキング剤の部分は念入りに。
節水型シャワーヘッドの場合は商品の特性上水圧が弱い場合がございます。水圧の調整を行う場合はシャワーヘッドの交換を行ってください。

よく乾燥させる

浴室乾燥機を乾燥機モードに切り替え、ドアを閉めて乾燥させましょう。

小物周りは要注意

シャンプーや小物の周りなど、空気の流れないところは乾きにくく、カビも生えやすくなります。小物は水切れの良い台の上か、カゴ状の容器に入れておくとういでしょう。



水滴を拭き取る

湿度の高い状態が長時間保たれると、カビの原因になります。予防のために、水滴はタオルで軽く拭き取ってください。壁全体を毎回タオルで拭けば、新築のような状態が長く保てます。それが面倒な場合は、特に乾きにくい部分だけ水滴を拭いておきましょう。特に鏡は、水滴が付いたままにしておくと水分中のカルキが鏡面に固着するだけでなく長時間経つと、白いシミとなって取れなくなります。



入浴後のカンタンお掃除フロー

- 1 洗面器などの小物は浴槽でゴシゴシと。
- 2 浴槽は栓を抜いたらタオルで“お湯はりライン”と底を軽くこすります。
- 3 排水の間はシャワーで床や壁に着いた皮脂などカビの養分となる汚れを洗い流しましょう。
- 4 残った水分を拭き取りましょう。冷たいシャワーで温度を下げるのも効果あり。
- 5 あとは、しっかり乾燥させればOKです。

COLUMN

浴槽栓の鎖の引き方!

浴槽の栓に付いた“鎖”は垂直に引き上げるようにしてください。
鎖が取り付けられた浴槽部分に力が加わると、取り付け部分が破損する場合があります。